

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	切除不能・再発進行胃癌に対する Trifluridine/tipiracil 療法における新規予 後予測因子の探索
	研究目的	Trifluridine/tipiracil 療法は切除不能・進行再発胃癌に対する 3 次治療以 降の化学療法として推奨されている。しかしながら、3 次治療以降の胃癌 患者における免疫・炎症状態や栄養状態は決して良好とは言えず、 Trifluridine/tipiracil 療法の効果や予後への関与は少なくないと考えられ る。本研究では、当院における Trifluridine/tipiracil 療法を施行した患者の 臨床データを用い、主に免疫・炎症状態や栄養状態を評価する指標 (prognostic nutrition index, neutrophil-to-lymphocyte ratio など)を後方 視的に検討し、新たな予後予測因子の探索を目的とする。
	研究対象者	2019 年 10 月から 2022 年 10 月まで、当院で切除不能・進行再発胃癌に対 し Trifluridine/tipiracil 療法を施行した患者 64 例を対象とした。
	研究期間	西暦 2022 年 12 月 19 日～西暦 2025 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を 利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	橋本至
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター・消化器外科・橋本至・045(520)2222	